
クリエイティブ飛鳥
未来への風プロジェクト
Creative asuka. "KAZE" project to the future

2015年度 実施報告書



Creative飛鳥・未来への風プロジェクト

「明日香の匠展」と「飛鳥・音の風景」に寄せて

第2回目となる「明日香の匠展」と「飛鳥・音の風景」が華々しく開催された。

かつて都があった明日香には、我が国最高水準の文化が漲っていたであろう。だが、それらは永い歳月の中で全てが地中に埋もれていった。今、発掘調査で飛鳥京跡から苑池が発見されその再現が、またキトラ古墳周辺も整備され、今秋にその完成を見る。こうした歴史文化を生み育んだ明日香の地から、現代の美術・音楽を通じて芸術文化を発信しようとする村の試みを高く評価したい。

「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会では、更なる進化を求めての企画が検討された。第1回展では、明日香村在住者による作家人選を中心としたが、第2回展は「明日香村にゆかりのある作家」にもという事で、公募展とした。応募者の選定については、奈良県立万葉文化館館長稲村和子氏、奈良県立美術館学芸課長南城守氏のご協力も得た。

第2回展を終える頃、今後のあり方についての問題点の指摘があった。出展作家の基準についてであるが、色々な考え方があり宿題が残された。

今展の特徴として、全国公募で若いアーティストを村に招き入れ、明日香村で体感した事を発表していただくという「飛鳥アートヴィレッジ」の企画に参加された中から、3名の現代美術家が選出され、合同発表会となり一層会場は華やいだ。

第2回目となる「飛鳥・音の風景」も、その内容は一変させていた。前回は、明日香村在住の音楽家という事で、大字越在住のバリトン歌手松岡剛宏氏と島庄在住の渡会みつはる氏のピアノ演奏に村伝承芸能の八雲琴奏者との交流も試みられたが、今回はその趣を変えて「明日香村にゆかりのある音楽家」として上居生まれの仲谷依子さんのピアノ演奏を中心にすえ、第2部に天理シティーオーケストラのご協力を得た構成となった。

クラシックに親しんで下さいと語りかける指揮者安野英之氏のたくみなトークと演出の妙で、会場は盛り上がった。第1部の仲谷さんのソロ演奏によるベートーヴェンの曲は威厳に満ちた音の風景として熱演された。「みんなで気軽にクラシック」のテーマ通り安野氏は指揮棒を参加者に与えるなど、奏者と聴衆の一体感が生まれていた。

今回、新たな企画に対して色々のご協力をいただきました関係の皆様方に厚くお礼申し上げます。

2016年3月

「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会
実行委員長 烏頭尾 精

2015年度 事業概要

■ コンセプト

明日香村の“プリミティブな魅力”。それは、日本創成の地として、あらゆるモノやコトを産み出す創造性あふれるエネルギーが、今もこの地に眠っていることである。営々と受け継がれてきた“大らかな風土”と“しなやかな精神性”は、日本の明るい未来を築いてゆく上で大いに有効性を発揮するものと期待される。

そこで、明日香村の地場から発せられるこの潜在的なエネルギーを表す言葉「クリエイティブ（創造性あふれる）」をキーワードに、

(1) 日本における明日香村の果たすべき(他の地域にはできない)役割を明確にし、

(2) 明日香村から全国さらには世界へと情報発信機能を高め、

(3) 次世代の日本を担う有能な人材の育成に寄与しながら、

(4) 未来志向型の村づくりを実現するために、

長期的視野に立って「Creative飛鳥・未来への風プロジェクト」を推進するものとする。

■ 2015年度における事業目標

「明日香村歴史文化基本構想」に謳われる「明日香村の歴史文化が有するポテンシャル」に着目しながら、村在住の作家および音楽家に光を当てた事業を実施し、クリエイティブ村としての機運の醸成を目指す。

■ 実施体制

主催：「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

後援：明日香村、一般財団法人明日香村地域振興公社、公益財団法人古都飛鳥保存財団、国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所

■ 実行委員会について

・構成メンバー

実行委員長　烏頭尾　精(日本画家・京都教育大学名誉教授)

副実行委員長　脇田　宗孝(陶芸家・奈良教育大学名誉教授)

実行委員　　境山　正甫(明日香村文化協会長)

実行委員　　松岡　剛宏(バリトン歌手・大阪音楽大学演奏員)

実行委員　　藤田　和成(奈良県立万葉文化館 副館長)

実行委員　　田中　祐二(明日香村教育委員会 教育長)

・事務局／明日香村教育委員会内(〒634-0141奈良県高市郡明日香村川原91-1)

・実行委員会の開催

第1回　2015年　6月15日(月)　14：00～　明日香村中央公民館　1階会議室

第2回　2015年　7月　8日(水)　10：00～　明日香村中央公民館　1階会議室

第3回　2015年　12月16日(水)　13：00～　明日香村中央公民館　2階研修室2

■ 実施概要

I)「明日香の匠」展

期間：2016年1月23日(土)～1月31日(日)※但し、25日(月)は休館
10：00～17：30（受付／17：00まで）

会場：奈良県立万葉文化館1F 企画展示室(奈良県高市郡明日香村飛鳥10)

内容：明日香村を拠点に活動する作家34名と飛鳥アートヴィレッジ参加アーティスト3名による作品展を開催。

特別出品作家：佐藤 学（2012年度 飛鳥アートヴィレッジ参加アーティスト）
笠間 弥路(2013年度 飛鳥アートヴィレッジ参加アーティスト)
中尾 美園(2014年度 飛鳥アートヴィレッジ参加アーティスト)

出品作家：烏頭尾 精(日本画)、烏頭尾 忠子(日本画)、川本 恵(洋画)、勝川 喜昭(洋画)、勝川 京子(洋画)、中島 忍(洋画)、渡会 美枝子(詩書画)、上田 孝文(木版画)、脇田 宗孝(陶芸)、田中 茂雄(陶芸)、八田 義之(陶芸)、木野村 由比子(陶芸)、鈴木 乃り子(陶芸)、高橋 直樹(ガラス造形)、安田 麻里(ガラス造形)、小田 珠生(ガラス造形)、小林 陽介(彫刻)、岡橋 久代(彫刻)、上山 好庸(写真)、森本 富雄(写真)、梅田 耕吉(写真)、上田 由美子(写真)、岡本 路子(写真)、萩田 靖二(写真)、柳 敏明(写真)、垣内 飛翠(書芸)、稲垣 小燕(書芸)、鈴木 葩光(書芸)、中井 功子(書芸)、中川 愛子(紙画)、島田 清(面彫)、楠原 利平(木工芸)、島田 壽子(パッチワークキルト)、折坂 諭(ギター製作)

展示・構成：山中 俊広(インディペンデント・キュレーター)

入場料：無料

入場者数：1,641名

《飛鳥アートヴィレッジとは》

将来性のある若手アーティストが、明日香村に短期滞在し、そのロケーションからインスピレーションを受けることで従来の発想や枠組みにとらわれない作品を制作・発表(展示)するという一連の芸術活動支援プログラム。アーティストによって再発見される明日香村の新たな魅力・価値観を、より多くの方々に発信することを目的としている。

II)「飛鳥・音の風景」

日時：2016年3月6日(日)

開演：14：30 [開場13：30 (楽器体験コーナー 13：30～14：15)]

会場：明日香村中央公民館 1Fホール(奈良県高市郡明日香村川原91-1)

内容：昨年度に引き続き、明日香村在住の音楽家がプロデュースする音楽事業を通して、明日香村にゆかりのある音楽家を新たに発掘するとともに、村民に上質な音楽を提供する。

出演：【第1部】ソロ演奏

ピアノ：仲谷 依子(明日香村出身)

【第2部】指揮者体験も出来る「みんなで気軽にクラシック!」

指揮：安野 英之

管弦楽：天理シティーオーケストラ

プロデュース：松岡 剛宏(バリトン歌手・大阪音楽大学演奏員)

演出：藪川 直子(演出家・舞台監督)

入場料：無料

入場者数：230名



「明日香の匠」展 2016.1.23 [SAT] - 31 [SUN] 奈良県立万葉文化館 1F 企画展示室



半夏生 — 深々 —

特別出品作家

飛鳥アートヴィレッジ

佐藤 学

SATO Manabu

私の制作は、紙片に残る水の跡をオールオーバーに継ぎ、広げていくことから始まる。和紙の継ぎ跡は画面上の大地の稜線となって見え、水の動いた跡は森、水や空気の動きとなって見えてくる。これらの物理的な跡を消さないように、そこから見える景色を描き起こす。すると、オールオーバーの画面には、際限なく開いていく奥行き空間が現れる。この空間と連動するように、実際の作品の形態を連動させる。和紙の風合いや水などが織りなす物理的な跡、画面上に現れた空間、さらに作品の形態が響き合う。そして、この響き合う空間に微かに浮かび上がるのは、ひとつの景色である。断片を継ぎ現れる俯瞰の景色によって、私たちの歴史を振り返り、今日の発想から過去を再構築していく先に現れるひとつの景色によって、私たちの今を前進させたい。



- 1985 東京都足立区育ち
 - 2015 筑波大学大学院 人間総合科学研究科博士後期課程
芸術専攻芸術学領域修了
 - 現在 神戸芸術工科大学 アート・クラフト学科 実習助手
-
- 2010 個展「なみ、え、みち、つくばから」茨城県つくば美術館(茨城)
 - 2011 「アート亀山」(三重)
 - 2012 個展「地をつなぐ」伊勢現代美術館(三重)
「C-DEPOT2012 TOKYO-YOKOHAMA」スパイラル(東京)
 - 2013 「飛鳥アートヴィレッジ」奈良県立万葉文化館(奈良)
第22回「奨学生美術展」佐藤美術館(東京)
 - 2014 個展「軌道」コバヤシ画廊(東京)

素材…和紙に顔料、染料、膠



となりの宇宙 — 明日香 —



素材：石、紙、木、その他 協力：明日香幼稚園



特別出品作家

飛鳥アートヴィレッジ 笠間 弥路 KASAMA Miro

小石をくっつけるワークショップ。
明日香幼稚園の園児と行ったワークショップ。
飛鳥の川に小石を拾いに行く。
石の色、形、大きさ、石以外の物、それぞれが吟味してお気に入りを持つ。
拾うものに表れる個性。
拾ってきた石を見立て、積み、くっつける。
自立させる為の工夫、展開するストーリー、眺めるたびに形は発展していく。
材料や方法の限られた中で行われる観察と工夫、イメージの創造を無意識に結びつけ形を立ち上げる。
何かに見えたり見えなかったりすることがコミュニケーションを豊かにする。
美術において、衝動や即興性と手段の結びつき、目的や物語がどのように生まれ、干渉し、関係を築くのか、子供達とのワークショップを通じて考察する。

1983 宮城県生まれ
2007 Ecoles Nationale Supérieur des Beaux Arts de Paris交換留学
2008 京都市立芸術大学大学院 美術研究科彫刻専攻修士課程修了

2013 [KYOTO STUDIO]@KCUA(京都)
「Art Court Frontier 2013 #11」ARTCOURT Gallery (大阪)
2014 「飛鳥アートヴィレッジ 宙の土 土の宙 —そらのつち つちのそら—」
奈良県立万葉文化館(奈良)
「ACG eyes 6 : — 二次元地層学—」ARTCOURT Gallery(大阪)
2015 個展「となりの宇宙」FIGYA(大阪)
個展「If my house fall down, the grass will grow there.」
GALLERY301(神戸)
個展「Swimming」ASYL(大阪)

特別
出品
作家

飛鳥アートヴィレッジ

中尾 美園

NAKAO Mien

花嫁
の
み
ら
い

現行の「家父長制度」に対する違和感や、生活習慣や経済の変化は、従来あった「嫁入り」の様相を変えつつある。親が嫁ぐ娘に、持たせた豪華な着物を詰め込んだ桐箆笥は、将来どのような変遷を辿るのだろうか。
展示作品は、明日香村に嫁いでこられた女性3名を取材し、嫁入り箆笥に納められていた物の一部を描いて絵巻に仕立てたものである。物の欠片が内包する豊かな世界を展開させている。
これらは絵画・工芸として鑑賞に加え、嫁入り文化を伝える民俗資料として捉えることも、また女性たちの人生の一端にふれることもできるだろう。



素材技法：ミクストメディア(卷子、額装、展示ケース、解説パネル)



1980 大阪府生まれ
2006 京都市立芸術大学大学院 美術研究科保存修復専攻 修士課程修了

2006 「京都市立芸術大学大学院修了制作展」(大学院市長賞)京都市美術館(京都)
2008 「京展」(館長奨励賞、'09年須田賞・芝田記念賞)京都市美術館(京都)
2013 個展「いつかの庭」KUNST ARZT(京都)
「シェル美術賞展」国立新美術館(京都)
2015 「飛鳥アートヴィレッジ -彼方のうつつわ-」国営飛鳥歴史公園(奈良)
個展「図譜」Gallery PARC(京都)
はならあと こあ「みらいの欠片」細川町家(奈良)

日本画

烏頭尾 精

UTOO Sei



左から:《竹の山・2016》、《竹の山・2015》

日本画

烏頭尾 忠子

UTOO Tadako



左から:《花の景I》、《花の景II》

1932年明日香村生まれ。京都市立美術大学卒業。'59年新制作展新作家賞、以後2回受賞。'60年奈良県文化賞。'92年日本経済新聞社「現代日本画俊英烏頭尾精」東京・名古屋・京都開催。京都日本画秀作展優秀賞、京都市芸術功労賞、地域文化功労者表彰など受賞。現在、創画会会員、京都教育大学名誉教授、京都日本画家協会顧問。

1936年奈良県御所市に生まれる。京都女子大学卒業。奈良教育大学附属幼稚園退官後、大阪教育大学、奈良教育大学、奈良文化女子短期大学にて非常勤講師を務める。奈良県展にて県展賞、知事賞、文部大臣奨励賞を受賞。近鉄奈良店美術画廊にて個展(他10回)。絵本(共著)、画集等出版。現在、奈良県美術人協会会員、奈良県展招待作家。

1938年奈良県大和高田市生まれ。'61年奈良学芸大学芸術科（現：奈良教育大学）卒業。以後'92年まで葛城市白鳳中学校に勤務し、退職。在職中、数年間奈良県図工・美術科指導員。'60年高田洋画会賞。'62年県展入賞、高田市美術展市展賞、研水会展入選。退職後、奈良県美育懇話会に参加し、作品展に出品。



左から〈明日香路〉、〈廃屋〉

洋画
川本 恵

● KAWAMOTO Megumi

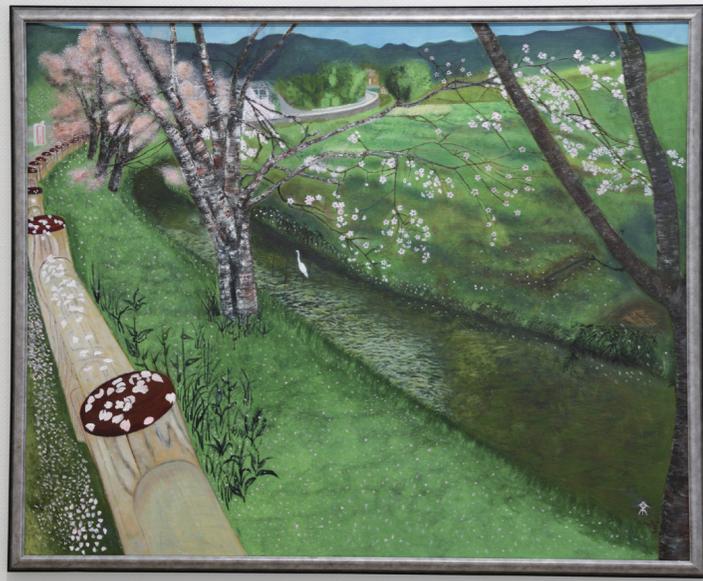
〈明日香の暮〉



洋画
勝川 喜昭

KATSUKAWA Kisho ●

1938年明日香村に生まれる。2002年明日香郵便局長退任。'01～'11年明日香村伝承芸能保存会々長。'09～'15年新協美術会奈良・大阪支部展に各年入選。'10～'15年新協美術展（東京都美術館）に各年入選。'12年新人努力賞、新協美術会々友推挙。現在、明日香村文化協会、明日香村伝承芸能保存会、公民館絵画クラブ、橿原ロータリークラブに所属。



〈 眼前に輪を描く白き羽ばたき 〉

洋画
勝川
京子

● KATSUKAWA Kyoko

1938年兵庫県姫路市に生まれる。'61年大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。2009～'15年新協美術会奈良・大阪各支部展に各年入選。'10～'15年新協美術展(東京都美術館)に各年入選。'14年奈良新協美術努力賞、新協美術協会々友推挙。現在、明日香村文化協会、明日香村伝承芸能保存会、公民館絵画クラブ、明日香・ギタークラブ、コーラス明日香風に所属。



左から:〈 花火大会 〉、〈 北東に白と山 〉

洋画

中島 忍 NAKAJIMA Shinobu

●

1975年島根県生まれ。学生時代より油絵を始める。2009年より明日香村に在住。「昭和美術会展」、「伊吹を描く展覧会」等に入選。毎年、グループ展を開催。近年は、風水をテーマにした絵画作品を制作し続けている。



いのちの水



あすかの川

左から「いのちの水」「あすかの川」

詩書画
渡会 美枝子

WATARAI Mieko

1969年東京生まれ。'87年ロンドン大学英文学コース修学。帰国後筆墨の手ほどきを岡田紀子氏に、書画を絵手紙創始者、小池邦夫氏、恭子氏に師事。2004年、'11年熊谷守一美術館ギャラリー「詩書画展」発表。'12年広島三越で個展。'13年明日香村に移り住む。'14年近鉄上本町店他、個展開催。

木版画

上田 孝文

UEDA Takafumi



〈盛夏〉



〈生命いのち〉

1948年奈良県下市町に生まれる。'80年明日香村に転居。2008年学校教員を退職し、版画家・清田雄司氏に師事し、創作活動を始める。奈良県美術展覧会や奈良県高齢者展、教職員展等に出展し入選・入賞する。現在、各地に赴いて写生をしたり、物を見つめて描いたりすることを楽しみに木版画を制作。

陶芸

脇田 宗孝

WAKITA Munetaka



左から：《飛鳥幻想(紫)》、《飛鳥幻想(朱)》

1942年生まれ。タイルデザイナーを経て、父祖の地・明日香村に「飛鳥赫窯」を開窯。個展（近鉄百貨店・アベノハルカス開店記念展など）、公募展に出品・受賞。また、古代窯業（巨大埴輪・奈良三彩・埴仏・古代ガラス玉など）の研究論文・復元製作をおこなう。著書に『世界やきもの紀行』『陶彩道遥』『陶の語り部』。京都市立芸術大学非常勤講師・放送大学客員教授を経て、現在、奈良教育大学名誉教授。

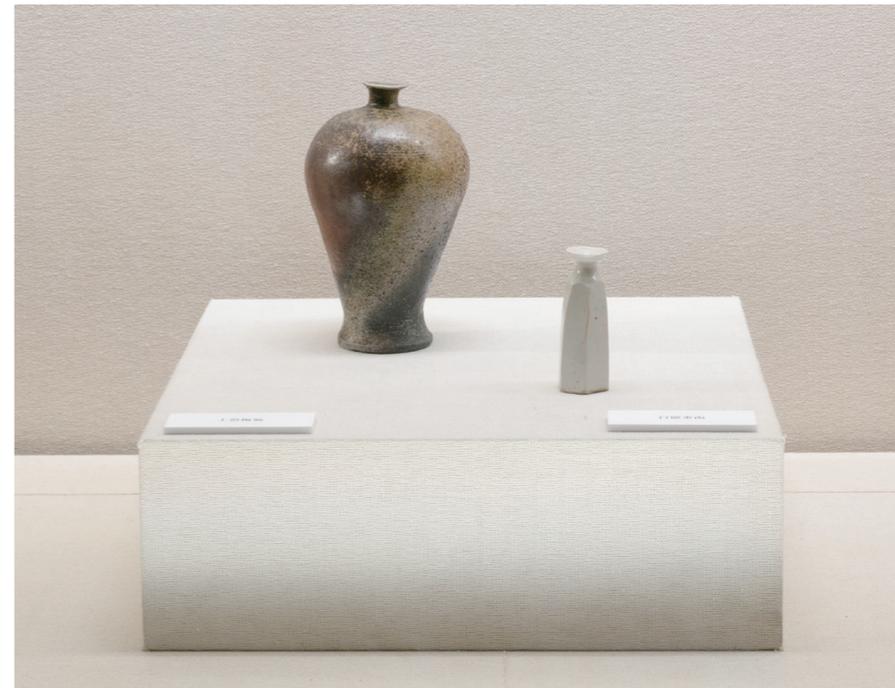
陶芸

田中 茂雄

TANAKA Shigeo



1963年京都府生まれ。東京理科大学中退。古陶磁に魅せられ土や石、釉薬の研究を行う。その後、李朝・桃山時代の古陶磁を手本として独学で焼き物始める。2007年明日香村に移住。'10年穴窯を築窯。窯名は李溪窯。



左から：《土器梅瓶》、《白磁乳瓶》

陶芸

八田 義之

HATTA Yoshiyuki



1933年明日香村豊浦に生まれる。'94年大阪市役所を定年退職後、農業に従事しながら作陶をはじめ。脇田宗孝氏に師事、現在に至る。



左から…〈つわぶき文大皿①〉、〈つわぶき文大皿②〉

陶芸

木野村 由比子

KINOMURA Yuiko



1946年愛媛県新居浜市生まれ。北葛城郡河合町在住。'84年より脇田宗孝氏に陶芸を学び、'97年窯を築窯。奈良県美術展覧会の工芸の部と彫刻の部に出品を重ねる。2013年スペース・バナクティ(平群町)にて個展を開催。近年は主に鳥をテーマにした作品を制作している。

〈墨弾き花鳥文扁壺〉



東京都生まれ。2005年より毎年、奈良県美術展覧会に出品。
 '06年明日香村文化協会入会。'10年明日香村美術展出品、
 '10年、'11年奈良県美術展覧会県展賞受賞。'12年奈良県
 美術展覧会に招待出品。現在に至る。



左から…〈飛鳥の旅立ち〉、〈飛鳥の想い出〉

陶芸

鈴木 乃り子

SUZUKI Noriko



〈卵シリーズ「虹・地球・卵」〉



〈飛鳥の風〉

ガラス造形

高橋 直樹

TAKAHASHI Nawoki

1951年東京生まれ。日本大学理工学部卒業。10年間岩津硝子桜井工場にて吹きガラス職人として勤務。'83年明日香村に移住(明日香むらの吹きガラス工房立ち上げ)。東急ハンズデザイン賞、西武美術館長賞他を受賞。フランス、ドイツ、アメリカ、中国他、毎年全国各地で個展を開催。

ガラス造形

安田 麻里

YASUDA Mari



左から…〈空飛ぶうちちゃん〉、〈ようちちゃんの白おこし〉

1957年生まれ。京都市立芸術大学大学院彫刻科卒業。現代彫刻の制作活動後、ガラスを主な素材として制作を始める。「国際ガラス展金沢」、「日本現代ガラス展」、「日本のガラス展」等に出品。'92年明日香村に工房MARIGLASSを作る。現在、自宅工房とリサイクル館かしはらで教室を主宰。日本ガラス工芸協会会員。



左から〈美し飛鳥〉、〈あすか三彩 酒器〉

ガラス造形

小田 珠生

ODA Tamao



1971年千葉県生まれ。'92年多摩美術大学卒業。'96年富山ガラス造形研究所(富山県)入学。1997~2002年なないろKAN硝子工房(富山県朝日町)にスタッフとして勤務。'08年明日香村へ移住。'09年夫と自家焙煎珈琲店、珈琲「さんぼ」(明日香村・岡)を開店。'14年珈琲店の隣に個人工房、硝子工房「さんぼ」をオープン。

彫刻

小林 陽介

KOBAYASHI Yosuke



〈仲間〉

1981年生まれ。2004年東京造形大学彫刻科卒業。
国展新人賞、京展賞、秀桜基金留學賞、四万十川カッパ
造形大賞最優秀作品賞、木彫フォーカアートグランプリ
他を受賞。サロンギャラリー余白(名古屋)、画廊飛鳥、
ギャラリー勇斎(奈良)、瀬戸内市立美術館(岡山)他で個展
等を開催。

彫刻

岡橋 久代

OKAHASHI Hisayo



脇田宗孝、中川賀照の両氏に師事。
明日香村文化協会会員。



〈黒陶・飛鳥に遊ぶ〉

写真

上山 好庸

UEYAMA Yoshinobu

●

1950年明日香村生まれ。奈良新聞社を経て1986年フリーランスに。出版社等の取材撮影を行う傍ら、ライフワークとして大和路、主に飛鳥の撮影を続ける。著書に「万葉明日香路」光村推古書院、別冊「太陽・飛鳥」(平凡社)など。2012年から「JAならけ」のカレンダーを担当。近鉄文化サロン、奈良講師(公社)日本写真家協会(JPS)会員。



左から:〈飛鳥路夕景〉、〈翔〉

写真

森本 富雄

MORIMOTO Tomio

●

1944年大阪市生まれ。1968年明日香村に移る。朝日新聞社国際写真サロン、奈良県展、オリエンタルスポーツ写真、三菱月光、富士フィルム、ニコン等で多数受賞。奈良県文化会館「日記帳」、大阪ミノルタ「飛鳥夢幻」、大阪ニコンサロン「私景飛鳥」、「水都大阪・今」、大阪府近つ飛鳥博物館「遠つ飛鳥」等を開催。



〈私景飛鳥・公園〉



キリンSUN(キリン)

写真

梅田 耕吉

UMEDA Kokichi



写真

上田 由美子

UEDA Yumiko



1947年和歌山県に生まれる。'72年結婚を機に奈良県に移り、小学校教員として勤務。'80年明日香村住民となる。退職後写真に興味を持ち、明日香に残る原風景や伝統行事などを撮影する。「明日香路を写そう写真コンクール」「教職員展写真の部」等で入賞・入選する。



夕陽 (上田)

1934年生まれ。奈良学芸大学(現:奈良教育大学)卒業後、小学校教諭となる。視聴覚教育・放送教育の研究に携わり、文部大臣賞、県教育選奨を受賞。「奈良県高齢者写真コンクール」入賞。「明日香路を写そう写真コンクール」入賞多数。2007年、写真展『吉野川・千石橋』を奈良市写真美術館にて開催。現在、明日香村文化協会代表理事。

写真

岡本 路子

OKAMOTO Michiko



1947年生まれ。京都衣笠で育ち、奈良へ転居。1972年以来明日香村祝戸に在住する。石舞台、明日香川の四季の詩(うた)を撮り続けている。第26回「明日香路を写そう写真コンクール」に「洞落」(ちょうらく)で特選、同コンクール入選4回。天理写真展で長岳寺貫主賞受賞。現在、明日香村文化協会理事。

写真

萩田 靖二



OGITA Seiji

1931年大阪市此花区生まれ。西野田工業高校卒業。2008年「ペンタックスファミリー創立四十周年記念フォトコンテスト」準特選、'09年「明日香路を写そう写真コンクール」特選、'12年「明日香路を写そう写真コンクール」明日香路賞ほか、多数受賞。



写真

柳 敏明



YANAGI Toshiaki



左から：《久方の月》、《星景高松塚》

1949年奈良県下市町生まれ。'81年明日香村に転居。2002年「明日香路を写そう写真コンクール」入賞以来、5年連続入賞等。'13年、'14年同コンクールで明日香路賞を2年連続で受賞。その他、全日本写真連盟「なら展」入選、「全国動物写真コンテスト」入選など受賞多数。現在、全日本写真連盟奈良県本部に在籍。

書

垣内 飛翠

KAITO Hisui



1922年明日香村生まれ。'42年奈良県女子師範学校(現:奈良教育大学)卒業。'71年国貞寿翠、福中悠光、米田玉泉の各氏に師事。'76年より書道講師を務める。'85年日韓書芸招待出品、日本の書展出品、個展3回、書道クラブ展3回実施。'75年より関西大学「明日香村史学文学講座」のテーマの揮毫を36年間務める。2012年1月関西大学より感謝状。現在、明日香村文化協会常任理事であり名誉会員。



左から：《林塘懷友(唐 王勃)》、《梅花(宋 王安石)》

書

稲垣 小燕

INAGAKI Shoen



〈 霊火 〉

1947年大阪府生まれ。'66年川崎白雲氏に師事。毎日書道展大字書部毎日賞、書道芸術院漢字部準大賞など多数受賞。心斎橋豊田ビルイベントフロアにおいて個展を開催。現在、毎日書道展大字書部審査会員、(公財)書道芸術院評議員・漢字部審査会員、(公社)全日本書道連盟正会員、燕京書道交流会常任理事、高野山書道協会参与、明日香村文化協会常任理事、小燕会主宰。

書

鈴木 葩光

SUZUKI Hakou

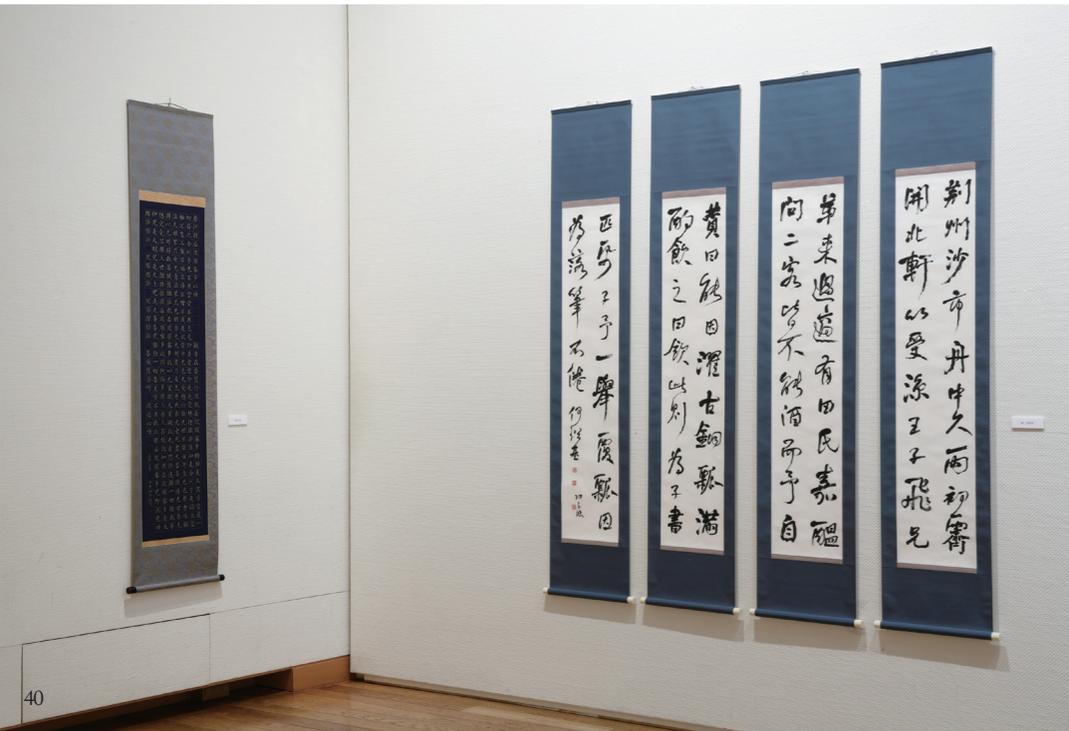


1939年大阪府生まれ。橋本芳邨、藤岡九波の各氏に師事。日本書芸院、日展、毎日展などで多数受賞。1971年丸善美術にて作品を常設、フリー万葉作家となる。二人展(京都・橋屋ギャラリー)、日本の秀作美術展(ニューヨーク)、日仏美術展、書家50周年・60周年記念個展「飛鳥とともに」など次々と作品を発表。これまで茨城大学、奈良芸術短期大学で非常勤講師を務める。

左から：〈 Japan 〉、〈 Asuka 〉



左から：《般若心経》、《臨 何紹基 行草山谷題跋語四屏》



書

中井 功子

NAKAI Noriko



1955年明日香村生まれ。西橋香峰、池田敏仁の両氏に師事。日本書芸院二科審査員。読売書法展、会友。2013年「奈良県美術展覧会」にて県議会議長賞を受賞。



雪の朝(あした)



二上の挽歌(あすかより眺める二上)

左から：《雪の朝(あした)》、《二上の挽歌(あすかより眺める二上)》

紙画

中川 愛子

NAKAGAWA Aiko



1932年大和高田市生まれ。'84年万葉紙画集を出版。'86年NHKのテレビ番組「紙画で画く大和」で作品が紹介される。'86年「万葉紙画集原画展」(橿原文化会館)、『90年「秋の秀作美術展」(ニューヨーク)に出展。'91年「ミレー展」(フランス)にてフォンテーヌ・ブロー市長賞受賞。その他、仏・伊・米・韓・台等にて受賞多数。

面影
島田清

SHIMADA Kiyoshi



左から:《能面(小面)》、《能面(行道面)》

1944年明日香村に生まれる。建築業を営むかたわら、'75年おもての会入会。北澤三次郎氏の元で、能面打ちを始める。'76年大阪芸術センター主催の作品展に出品。'85年おもての会を退会。2010年京都市美術館能面展、'12年奈良文化会館能面展に出品。'14年東京国立博物館に天狗面、お多福面を出品。

木工芸

楠原 利平

KUSUHARA Rihei

1925年生まれ。60歳の頃より独学で木工芸の創作活動を始め、試行錯誤を重ねる。1995年奈良県高野町で作品展での優秀賞をはじめ多数の受賞実績あり。

奥から:《般若心経》、《高山屋台》





〈 Nostalgia~Loving tile 〉

パッチワークキルト

島田 壽子

SHIMADA Toshiko



1995年よりパッチワークキルトを始める。世界最大級の米国コンテストにて金賞・銀賞、国内でも多数の受賞歴がある。自宅花壇の草花をモチーフに、ピーシング・アップリケ・キルト・刺繍等の手法を用い、布の世界を表現。現在も国内外へ向けて手仕事の素晴らしさを発信し続けている。



左から…〈螺鈿紫檀六弦琴〉、〈紫檀杉四弦琴〉

ギター製作

折坂 諭

● ORISAKA Satoshi

1967年兵庫県生まれ。関西学院大学文学部卒業。神戸大学経済学研究科中退。楽器商社で主に企画業務に携わる。2012年に明日香村に移住し、ギター・ウクレレ製作工房「明日香楽器」を設立。手作りの製作技法を基本に、飛鳥・天平期の美術を取り込んだ楽器を作り出している。



第2回「飛鳥・音の風景」2016.3.6 [SUN] 14:30~ 明日香村中央公民館 1階ホール



ピアニスト

仲谷 依子

NAKATANI Yoriko



小岸 聡子、永井 譲、Bernhard Ebertの各氏に師事。旧西ドイツハノーファー国立演劇音楽大学大学院修士課程 (Die Hochschule für Musik und Theater Hannover Künstlerische Ausbildung S.) 芸術家養成クラス演奏科及び室内楽科をいずれも最優秀賞で卒業。ドイツ国家音楽家資格Diplom-Musiker取得。2年間FM大阪の海外現地リポーターとしてレギュラー出演。東西欧州、北アフリカのリアルタイムニュース、音楽、芸術家をサウンドを交えながら紹介。ワルシャワ現代音楽祭、ベルリンの壁崩壊後の市街等を取材。ラジオフランスインターナショナル (RFI) 提携国取材協力のもと、局ブース中継を実現。1998年に拠点を日本に移し、ソロリサイタルの他、文化教育機関主催行事への招聘出演を重ねる。海外からの来日アーティストとの共演や、国内外芸術祭出演多数。また、分野を超越して芸術家との共著をもとに、執筆講演、国際シンポジウム参加を軸に、国際平和希求の活動や、アジア、アフリカ、ヨーロッパ諸国との文化芸術交流に貢献。



指揮

安野英之

● YASUNO Hideyuki

京都市立芸術大学音楽学部卒業後、同大学大学院修士課程修了。チェロを岩谷雄太郎、上村昇の両氏に師事。指揮法を斉田好男氏に師事。現在、天理シティーオーケストラ常任指揮者、天理教音楽研究会講師、奈良県立高円高校音楽科非常勤講師、ラ・ストラダ弦楽アンサンブル首席チェロ奏者、天理市音楽芸術協会理事。これまで、天理シティーオーケストラ、天理教音楽研究会オーケストラ、高円高校音楽科オーケストラ・合唱団、奈良アマチュアオーケストラフェスティバルでの合同オーケストラ等を指揮し、いずれも好評を博した。2010年からは天理市主催「大人のためのおもしろ音楽講座」の講師を務めるなど、市民に音楽を広める活動にも力を入れている。2011年11月、天理シティーオーケストラにおける長年の功績が認められ、天理市より教育表彰される。



管弦楽

天理シティーオーケストラ

Tenri City Orchestra

●

天理市を拠点とするアマチュアオーケストラとして2001年に創設。現在では、関西の広域から約40名の団員が集まり、定期演奏会や年末の第九コンサートの他、未就学児童とその保護者のためのキッズコンサートや県内小学校への訪問演奏も精力的に行っている。創設時より安野英之氏および弦楽器トレーナーの指導により、市民オーケストラとして目覚ましい発展を遂げている。



「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会 実行委員
「飛鳥・音の風景」プロデューサー

松岡 剛宏 MATSUOKA Yoshihiro

1975年奈良県生まれ。大阪音楽大学声楽専攻卒業後、関西歌劇団に入団。その後渡米し、C、Aks氏のもとで研鑽を積む。帰国後、「椿姫」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「賢い女」など、数々のオペラに出演。2002年、R・コルサコフ国際声楽コンクールにて「聴衆特別賞」「ベストロマンスINGER賞」など4つの賞を受賞。2007年チャイコフスキー国際音楽コンクールの声楽部門にて日本人男性唯一の予選通過者となる。関西学院高等部講師を経て、現在、大阪音楽大学演奏員。明日香村在住。



演出家・舞台監督 籾川 直子 YABUKAWA Naoko

大阪音楽大学器楽学部ピアノ科卒業後、同大学専攻科声楽学科演出修了。在学中に中村敬一・井原広樹両氏、故芦田鉄雄氏に師事。関西を中心にオペラ演出として活動。「コジ・ファン・トゥッテ」、「愛の妙薬」、「トゥーランドット」、「蝶々夫人」、「ドン・パスクアーレ」等を演出、好評を得る。伊丹市芸術家協会会員。

当日プログラム

《開演前/13:30~14:15》

楽器体験コーナー

《第Ⅰ部》

仲谷 依子(ピアニスト)

- ① 「月光 Op.27-2」(ベートーヴェン)
- ② 「クラヴィチェンバロのための25のソナタ集」より：
ホ長調L.23(スカルラッティ)
- ③ 「クラヴィチェンバロのための25のソナタ集」より：
イ長調L.345(スカルラッティ)
- ④ 「子守歌 Op.57」(ショパン)
- ⑤ 「華麗なる大円舞曲 Op.18」(ショパン)

《第Ⅱ部》～ みんなで気軽にクラシック!～

安野 英之(指揮者)、天理シティーオーケストラ(管弦楽)

- ① 「ウィーンはいつもウィーン」(シュランメル)
- ② 「口笛吹きと子犬」(ブライヤー)
- ③ 「かじ屋のポルカ Op.269」(ヨーゼフ・シュトラウス)
- ④ 「おもちゃの交響曲」より 第1楽章(アンゲラー)
- ⑤ 「クランプフェンの森で Op.336」(ヨハン・シュトラウスⅡ)
- ⑥ ヴァイオリン協奏曲第4番 ニ長調 K.218「軍隊」より 第3楽章(モーツァルト)
独奏／杉谷歩の佳(天理小学校2年生)

指揮者体験コーナー(ラデツキー行進曲を使って)

- ⑦ ワルツ「金と銀」(レハール)

メディア掲載

平成28年1月24日(日) 読売新聞



平成28年1月28日(木) 産経新聞



広報ツールのデザイン

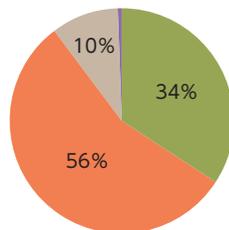


「明日香の匠」展



「飛鳥・音の風景」

「明日香の匠」展 来場者割合 来場者 1,641人 / 回答者 = 1,094人



「Creative飛鳥・未来への風プロジェクト」2015年度 実施報告書

発行日：2016年3月

編集・制作：株式会社 企画・創

写真撮影：三國 賢一

発行：「Creative飛鳥・未来への風」実行委員会

〒634-0141 奈良県高市郡明日香村川原91-1(明日香村教育委員会内)

TEL：0744-54-3636 FAX：0744-54-4647

この事業は、明日香村の歴史的風土保存にご尽力頂いた
故・寺尾勇氏の妻、寺尾栄氏からの寄附金を活用して実施しました。